

第二十八回帝國議會院學校及圖書館資金ノ一部所屬換等ニ關スル法律案委員會議錄(速記)第一回

衆議

明治四十五年一月八日午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

菅原

遠藤

鈴木

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣

福原鑑二郎君

藤澤

幾之輔君

正君

阪本彌一郎君

根本

荒川五郎君

正君

正君

出席委員左ノ如シ

良吉君

辰次郎君

村松

龜一郎君

正君

阪本彌一郎君

藤澤

幾之輔君

正君

阪本彌一郎君

正君

正君

出席政府委員左ノ如シ

文部次官兼事務官長福原鑑二郎君

文部省參事官松浦鎮次郎君

正君

阪本彌一郎君

藤澤

幾之輔君

正君

阪本彌一郎君

正君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

學校及圖書館資金ノ一部所屬換等ニ關スル法律案

正君

阪本彌一郎君

藤澤

幾之輔君

正君

阪本彌一郎君

正君

正君

○委員長(菅原傳君)是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮詢致シマスガ、第一ニ大臣ヨリ説明ヲ受ケマシテハドウデゴザイマセウカ

○藤澤幾之輔君ドウカ成タケ詳細ナ御説明ヲ願ヒマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○文部大臣(長谷場純孝君)學校及圖書館資金ノ一部所屬換等ニ關スル法律案

正君

阪本彌一郎君

藤澤

幾之輔君

正君

阪本彌一郎君

正君

○付テ大要ノ説明ハ本議會ニ於テ申述ヘテ置キマシタガ、尙今特別委員會ヲ開カル、ニ當リマシテ、成ベク詳細ナル説明ヲ御希望モゴザイマスカラ、茲ニ大體ヲ説明致シ、尙數字ニ亘ル點ハ文部次官カラ詳シ御質問ニ對シテ御満足ヲ與ヘルヤウニ説明ヲ致シマス、テ本案ハ仙臺ノ醫學專門學校及仙臺ノ高等工業學校ヲ明年度ヨリ即チ四十五年度ヨリ東北帝國大學ノ所屬トシテ、之ヲ同大學ノ専門部ト爲サントスル所アリマス、依テ之ニ伴フ資金ノ一部所屬換ニ關スル規定ヲ設クリモノニ外ナラナイノデアリマス、元來仙臺ニアル東北帝國大學理科大學ハ醫學及工學ト密接ノ關係ヲ有シテ居ル理化學ト根本ノ學科ヲ教授研究スル所アリマス、故ニ同地ニ在ル醫學專門學校及高等工業學校ヲ同大學ノ専門部トナストキハ、教員及設備等彼此互ニ相利用スルコトヲ得ルノミナラズ、學校ノ事業經營ノ便利が甚ダ多イ、且ツ經費ヲ節約スルノ利益モアルノテザイマス、ソレテ醫學專門學校ハ既ニ諸君モ御承知ノ如ク之ヲ時機ヲ見テ醫科大學ニ引直スノ必要ガアリマス故ニ、同校ノ附屬病院タル宮城縣立ノ病院ハ、宮城縣立於テ既ニ此意味ヲ以テ之ヲ大學規模ノ病院ニ改築致シタ狀況テアルノテアリマス、是ハ委員諸君ノ中ニモ必ズ御熟知ノコト、思フノデアリマス、故ニ此兩校ヲ東北帝國大學附屬ノ專張リ内ニ之ヲ入レ置テ、他日此時機ハ何ンノ時機ト云フコトハ茲テ明言ハ出來マセヌケトシテ置テ、即チ何レ將來適當ナル國家ノ經濟其他ノ種々ノ點ヨリ考案ヲ具シテ、

或ル時機ニ於テ之ヲ大學程度ニ引上ゲルノ方法ヲ取ルコトモアラウト思フノデゴザイマス、尤モ箇様ナ例ハ既ニ先例モアルコトデアリマス、大學ノ中ニ専門部ヲ置クノ例ハ、東京帝國大學農科大學ニ於ケル實科ノ如キ、或ハ札幌農科大學ニ於ケル水產科ノ如キ、既ニ先例モアルコトデ、此節新タニ例ヲ啓ヒタコトデハナイノデ、右ノ次第ニ依リ明度ノ豫算ハ前兩校ヲ東北帝國大學ニ合セルノ趣意ヲ以テ之ヲ編成致シテ議會ニ提出致シマシテ、既ニ諸君ノ御審査中ニ屬シテ居ルノデゴザイマス、依テ此法案ハ此豫算ニ伴フテ當然必要トスル事項ヲ規定スルニ遇ギナインテゴザイマス、大要本官ヨリ是ダケノコトヲ申上ゲ置キマシテ、其他ノ御質問ニ對シテハ十分ニ諸君ノ御満足ニナルヤウニ文部次官カラ説明致スコトニ致シマス

○藤澤幾之輔君固ヨリ御確定ニナシテ居ルコト、ハ思ヒマセヌケレドモ、必ズ御見込モアラウト思フノデアリマスカラ御伺ヒ致シテ置キタイト思フノデアリマス、東北大學ニ屬スル工科ハ唯今ノ高等工業學校ノ總處テノ學科ヲ引上ゲテ大學程度ニ御進メナルノデアリマセウカ、又ハ其高等工業學校ノ學科中ニ幾分ヲ大學程度ニ進メ、他ノ一部ハ何等カノ方法ヲ以テ現在ノ程度ニ於テヤハリ其學科ヲ繼續シテ御授けニナルヤウナ御計畫デアルデゴザイマセウカ、又ハ工科大學ハ現在ノ高等工業學校ノ學科ノ外ニ、尙他ノ學科ヲ御設ケニナルヤウナ御計畫ガアルノデアリマセウカナインテアリマセウカ、其邊ノトコロノ御調查モ一通りハ御著ケニナッテ居ルコト、思ヒマスカラ、願クハ詳細ニ御説明ヲ願ヒタノニアリマス

○政府委員(福原鑑二郎君)御答ヲ致シマスガ、高等工業學校ヲ東北帝國大學ノ中ニ入レマシテ、東北帝國大學ノ専門部ト致サウト云フノガ此案テゴザイマスガ、是ハ此案ハ固ヨリ大臣ノ説明ヲ致サレタ如クニ帝國大學ノ専門部トシテ入レルノデアリマシテ、今直チニ之ヲ工科大學ニ引直ホサウト云フ今見込ガ確立シテ居ル譯テハ無論ゴザイマセヌゾ、少シ餘計ナコトデアリマスケレドモ、然ラバ何故ニ今日之ヲ専門部トシテ帝國大學ノ中ニ入レルカト申シマスルト、御承知ノ如ク理科大學、理學專門、高等工業、此三ツノモノハ何レモ隣合ツク學校デゴザイマシテ、又學校ノ性質カラ申シマシテモ、唯今ノ理科大學ノ中ニハ四ツノ學科ヲ置アリマス、ソレハ物理學ト數學ト地質デアリマス、サウシテ高等工業ノ方ニハ採礦冶金、土木工學、電氣工學、機械工學、此四ツノ學科ヲ置テアルノデアリマス、是ガ此學科ノ性質カラ申シマシテモ、機械工學、電氣工學等ノ如キ應用ノ學問ハ、ソマリ物理學科ト數學科ト應用ノ學問デアリマス、又採礦冶金學ト云フモノハ、ソマリ地質學ト化學ノ應用ノ學問デアリマスカラ、丁度理科ト工科ト云フモノハ一ハ純正ノ學問デアリ、一ハ應用ノ學問デアル、此純正ト應用トハ互ニ裏表ヲナスモノデアリマスカラ、之ヲ東北帝國大學ノ中ニ抱へ込ミマシテ、御互ニ理科ハ工部ノ工學部ハ理科ノ設備ヲ利用スル、又教授力ヲ融通スルト云フが如クニシテ一ノ管理ノ下ニ置クト云フコトハ、是ハ經濟上ノ利益モアリマスノミナラズ、大ニ此學問ノ研究上學生ノ修養上非常ナ便益ノアルコトデアリマスカラ、互ニ學科ヲ關聯シテ居ル以

上、成ベク之ヲニ抱込ムト云フノが此案ノ第一ノ主意デアリマス、勿論此東北大學ハ御承知ノ如ク唯今テハ札幌ニ農科大學アリ仙臺ニ理科大學アルノミテアリマシテ、非常ニ駆離レタ所ニ分科大學ヲ一ツ、持テ居ルト云フヤウナ狀況デアリマス、是ハ今日ニ於テハ決シテ完成シタモノハアリマセヌカラ、將來ニ於テモ東北帝國大學ノ基礎ト云フモノハ一層擴大シナケレバナラヌコトハ申スマデモナイコトデアリマス、其意味カラ申シマスレバ更ニ専門部ヲ之ニ加ヘルト云フコトハ、將來ノ東北大學ノ發展ニ繕テアルトスウ認メテ無論宜ノアリマス、ソレデ工科專門部ハマア唯今ノトコロニ於テハ専門部トシテ無論置クノアリマス、將來之ヲ工科大學ニスルカシナイカト云フコトニ付テハ、今日ハ確カノ見込ラ此處ニ確言ラ致シテ御答スルコトハ出來ナインデアリマスガ、斯クシテ抱込ンデ置キマスレバ、將來學門ノ發展世運ノ進歩ニ從ツテ、之ヲ工科大學ニスルト云フノニモ非常ナ便宜ヲ與ヘルト云フコトニナルデアラウト思ヒマス、ソレデソレナラバ此専門部ヲ大學ニ引直スト云フ場合ニ於テハ、今日四ツノ學科ガ置テアリマスガ、此四ツノ學科ヲ總テ大學程度ニ引上ゲテ、大學程度ノ教育ハ之ヲ全廢スルコトニナルノデアルカ、シテ、他ノ一部ヲ專門教育トシテ之ヲ保存シテ行クノデアルカト云フコトニナリマスルト、是モ今日ハドウモ確ナハッキリシタコトヲ申上ゲルコトハ餘程困難デアリマスガ、何ニシマシテモ大學制度ニ引上ゲルト云フ場合ニナリマスレバ、何レトモ經費ヲ要シマス、經費ノ都合モアリマスシ、又専門教育ニ對スル又大學教育ニ對スル世間ノ需要志望者ノ多少ト云フヤウナコトモ參酌シテ行カナケレバナラヌコトデアリマスカラ、此四ツノ學科ヲ大學ニ一時ニ引上ゲルト云フコトハ非常ナ不便デアルカモ知レマセヌ、或ハ特ニ其志望者ノ多ヒ學科ヲ先づ以テ大學ニ引上ゲルト云フガ如キ手段ヲ取ラノケレバナラヌカモ知レヌト思ヒマス、今日ノ大學ノ狀況ヲ申シマスレバ、他ノ大學ニ付テ考テ見マスルト、電氣工學ノ如キハ最モ志望ノ多ヒモノデアリマス、併ナガラ今電氣工學科ヲ先づ以テ大學程度ニ引上ゲルト云フコトニ確ニ目算ガ立ツテ居ル譯テアリマセヌカラ、確カナコトハ申上ゲ兼ネマスケレドモ、ソレハ將來經費ナリ又其他ノ事情ヲ參酌致シマシテ、全部引上ゲルカ、一部引上ゲルカ、又上ゲル時期ハイツガ適當ナルカト云フヤウナコトハ、總テ熟考ノ上デ決シタイト思ツテ居ルノデアリマス、デ又今確カニ是レヽフ何年度ニ引上ゲルト云フヤウナ計畫ハ今日ハマダ立ツテ居ラスト云フコトヲ申上ゲルヨリ致シ方ハアリマセヌ、而シテ又大學部ニシタラ大學ノ程度ニナフモノダケハ總テ專門教育ハ廢止ニナルカドウカト云フコトニ付キマシテモ、是モ亦一ノ問題デゴザイマシテ、此專門學校程度ノ實業教育ト云フモノモ世間デハ大ニ必要ノモノデアル、ソコテ此專門教育ト云フモノモ、或ハヤハリ併行シテ置クト云フ案モ立テラレル、一方ニ於テハ大學程度ノ學科ヲ置キ又專門程度ノ教育ヲ同時ニ於テハ既ニ左様ナ例モ存在致シテ居ルノデアリマス、然ラバ必ズ雙方併行スルカト申シマスルト、ソレモ今日ハ確定ラ致シテ居リマセヌ、何分將來ノ專門部ノ發展ト云フコトニ付ギマシテハ、尙經費等ノ關係ヨリシテイツ頃實行ラ致スト云フヤウナコトハ決定シテ居リマセヌ、ソレデツマリ申シマスルト、將來ノ研究ニ依リマシテ、全部ヲ大學ニスルト云フ方法モアリマス、又大學ニシテ專門教育ヲ併行セシムルト云フ方法モアル、又一部分ヲ

大學ニシテ一部分ヲ專門教育トシテ保存スルト云フ方法モアルノデス、デソレ等ノコトハ將來管理者タル大學總長其他ノ意見モ聽キ、又本省ニ於テモ十分研究ヲ致シタ上デ決シタ伊スウ存シテ居ル次第デアリマス、尙又理科大學ニハ化學科ト云フモノガゴザイマスカラ、此化學ヲ應用スルトコロニ應用化學ノ如キモノモ、或ハ專門教育ノ程度ニスルカ、或ハ大學教育ノ程度ニ於テ將來加ヘテ行クカト云フガ如キコトハ、勿論東北帝國大學ノ一部ノ仕事トシテ適切ノコトデハアルマイカト云フヤウニ考ヘテ居リマス、但シ此理學專門部ノ如キモノニ至リマスルト、到底將來ハ大學程度ニ引上ゲルヨリ外ハ仕方がナイト考ヘテ居リマス、工學部ノ方ハ將來ハ餘程研究ノ餘地ノアルモノト、マア當局者デハ斯ウ考テ居ル次第デアリマス、今日此案ヲ提出致シタノガ此案デゴザイマス又純正化學ノ方面ニ於テモ五ニ便宜ヲ得、成ベク障壁ヲ撤去シテ重複ヲ省キ聯絡ヲ便ニスル、斯ウ云フ趣旨デ提出致シタノガ此案デゴザイマス○藤澤幾之輔君 内容ヲ外ニシテ形ノ上カラバカリ申シマスト、今日ノ高等工業學校來ノ研究問題トシテ、經濟上ノ利益又學問上ノ雙方ノ聯絡ヲ敏活ニシ、實地ノ方面ナルモノガ大學附屬ノ專門部トナルト云フダケニ止マルノデアルヤウニ承リマシタガ、ヤハリサウナノデスカ

○政府委員(福原鑑一郎君) 是ハ御尋ノ通リデゴザイマシテ、詰リ專門學校ト申シテ居リマスノハ、帝國大學專門部、斯ウ云フノアリマス○藤澤幾之輔君 世間傳フルトコロニ依リマスト、其所謂專門部ナルモノモ明治四十八年ニ於テ終リヲ告ゲルが如キ噂ヲ致シテ、懸念致シテ居ルヤウナ者ガアルヤウデアリマスガ、先刻ノ御説明ニ依シテ見マスト云フト、將來ニ於テ總テノモノガ此大學程度ニ引上ゲラル、場合ヲ除クノ外ハ、左様ノコトノナイヤウニ承知セラル、デアリマスガ、如何デゴザイマスカ

○政府委員(福原鑑一郎君) 唯今申上ゲマシタ如クデアリマシテ、明治四十八年ニナレバ專門部ガ廢止ニナルト云フガ如キハ、ソレハ全クソレ傳フル者ノ想像デアリマシテ、政府ニ於テハサウ云フ考ガ今日決シテ極シテ居ルト云フ次第テハゴザイマセヌ、先づ政府トシテハ一體理窟ヲ申セバ專門部トシテ何時迄モ帝國大學ノ專門部トシテ存在シテ置テモ宜イ譯テアリマス、又將來大學ニ引直シ得ル道モ出來ル譯テアリマスガ、其邊ニ至リマスト素ヨリマダ將來ノ研究ニ讓ルベキ事柄デアリマス、ナカノ四十八年ニ之ヲ工科大學ニシテシマシテ專門部ヲ廢スルト云フ如キ考ヲ、唯今持ツテ居ルト云フコトハ斷クテアリマセヌ○藤澤幾之輔君 醫學專門學校ノ方ニ付テチヨット御尋シタイデスガ、此藥學ノ方デアリマス、我國ノ現狀が此藥學ヲ卒業シタ者ヲ重ク用ヒルコトヲ爲シマセヌ結果トシテ、專門學校ヲ卒業致シタ者ガ適當ナル所得兼テ居ル者モアルヤウナ次第デ、隨ツテ志望者モ多クナイト云フヤウナコトデアリマスガ、併ナガラ深ク考ヘテ見マスト、此醫學ノ研究ト共ニ藥學ノ研究モ必要デアッテ、又現在ヨリモ尙進シテ其進歩ヲ圖ラナケレバナラヌコトハ勿論デアリマスガ、併ナガラ事實志望者少ナイト云フ上カラ、或ハ將來此東北大學ニ於テ若クハ專門部ニ於テ御廢シニナルト云フヤウナコトガアリハセマイカトシテ、懸念シテ居ル者ガナイデモナイ、此邊ニ對スル御方針ハドウ云フコトニナシテ居リマセウカ、ソレ

カラ今ノ問ノ前ニ御尋シタトキノ御答辯並ニ先ノ説明ニ依シテ見マスト云フト、現在ノ大學部即チ理科ノミニテハ御満足ニナツテ御イデテナイコトハ明カデアリマシテ、又是ハ當局者ノミテハナニ、一般殊ニ其地方ノ者ノ満足ヲ缺テ居ルト云フヤウナコトハ申上ゲルマデモナイデアリマスガ、併ナガラ何時大學ニ引上ガラル、カ、或ハ何時大學が完成スルカト云フヤウナコトが未定デアルト致シマスレバ、何ダカスウ前途漠トシテ殆ド當ニアラヌヤウナ氣味合モアリマスガ、當局者トシテ既ニ此理科大學ノミニテハ素ヨリ満足シテ御イデナインデアリマスカラ、銳意此大學ノ完成ニ御努メニナル御考テアラウト思ヒマスカ、其邊ハ如何ナモノデアリマセウカ

○政府委員(福原鐸一郎君) 御答申上ゲマスガ、此東北ヘ帝國大學ヲ置クト云フトハ、是ハ御建議モアリ、時ノ當局者モ御同意ヲシテ著手ヲ致シマシタノデアリマスガ、其著手ノ順序ト致シマシテ、當時ハ九州東北兩方ニ帝國大學ヲ置ク、殊ニ九州ニハ工科大學ヲ置ク、東北ニハ理科大學ヲ置クト云フコトニナリマシタ、理科大學ハ今日殆ド完成ニ近カントシテ居ル状況ニアリマシテ、昨年開校ト致シタト云フヤウナ次第ゴザイマスガ、御承知ノ如クニ理科ト云フモノハ是ハ志望者モ少ナインデアリマス、誠ニ外形カラ申シマスルト小サノモノデアリマス、併ナガラ當時ノ當局ハ此學問ノ方ノ點カラ觀察致シマスト、總テノ學問ノ基礎ト云フモノハ理科ニアル、ソコテ成程學生ノ志望者ノ多イコトヲ云ヘバ、醫學トカ工學トカ云フモノガ多イノデアリマスケレドモ、併ナガラ大學ハ學問ヲ蘊奥マデモ究メタイト云フノが理想デナケレバナラヌ、東北ハ一ツ純正ノ學問カラシテ著手ヲシテ行キタイト云フ考テ、當時理科大學ヲ置クト云フコトニナリマシタノデアリマス、然ルニ御承知ノ通リニ理科ト云フモノハ勿論志望者ノ餘計ナイモノデアリマス、而シテ又理科が貴イト云フコトハ世間テ申シマスレバ、總テノ應用ノ學問ノ基礎ニナルノアルカラ貴イノデアル、折角完全ナル理科ノ教育ダケが出來マシタトコロデ、應用方面ノ學問ト云フモノガソレニ附イテ居リマセヌケレバ、ヤハリ此理科ノ方ノ力ノ利用ト云フモノガ十分ニイカヌ譯アリマスカラ、ソレデ先ツ帝國大學ノ創立ニ著手ヲシタ以上ハ、基礎ノ方ノ文科大學醫科大學が出來タト致シマシタトコロデ、將來ハ又之ヲ基礎トシテ應用ラスルト云フ方ノ學問ノ分科大學ヲ造シテ行ガケレバ、詰リ今日ノ帝國大學トシテハ完全ナルモノガ無論出來ヌノデアリマス、ソレ故ニ豫テ此東北帝國大學ニハ醫科大學ヲ造ル、又工科大學ヲ造ル、テ理科ト工科ハ最モ連絡ノアルモノデアリマスシ、又醫學ト云フモノハ理學ニ最モ關係ノ密接ナルモノデアリマスカラ、醫科工科ト云フモノハ少ナクトモ東北帝國大學ニハ造ルト云フ考ヲ當初カラ政府ハ持ツテ居ツタノデアリマストコロガドウモ此帝國大學ノ完成ハ頗ル緩慢デアリマシテ、今日マデ一向他ノ分科ノ創立ニ手モ著イテ居ラヌヤウナ譯アリマスガ、併ナガラ却テ宮城縣ニ於テハ既ニ病院ノ改築モ了ツテシマタト云フヤウナ譯アリマスカラ、今日ハ政府ノ方に於テ却テ追立テラレルト云フヤウナ心持ガ致スノデアリマス、ソレデ成ルベク帝國大學ノ完成ト云フコトハ早ク致シタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマスコトハ御質問ノ通リテアリマスケレドモ、先ツサウ云フ次第アリマス

○根本正君 本案ハ一方ニハ經濟的ニ宣シイト思フコトデ、又圖書館ヲ工部ノ學科用ニ用井ルト云フコトデアツテ、私ノ伺ヒタイノハ、此圖書館ノ設備ナドハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、其經濟ノ方面、之ヲ利用スルトコロノ事實ヲ一應伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、ト云フノハ圖書館ハ實ニ大切ニ場所デアツテ、此教授或ハ日課ニ於テ得ルコトノ出來ナイ智識ヲ此圖書館ヨリ得ルト云フコトハ非常ナモノデアリマス、殊ニ私ハ此仙臺ノ醫學専門學校ニアルトコロノ藥學科ト云フモノハ、唯今必ス廢スルト云フコトハ申上ゲマセヌガ、アレガ醫科大學ニナツタ場合ニハドウスルカト云フコトニナリマスルト、東京帝國大學ノヤウニ、ヤハリ藥學士ヲ造ル所トシテヤシテ行クカドウカト云フコトハ、是ハ餘程考ヘ物アラウト思ヒマス、甚ダ曖昧ナ答アリマスケレドモ、先ツサウ云フ次第アリマス

○政府委員(福原錄一郎君) 唯今申上ゲマシタ如クニ此案ハ高等工業學校ヲ廢シテ了フト云フ無論積リテハコサイマセヌシ、大學ニ引上ゲル場合ニ於テ専門學校程度モノガ減シテモ、教育ノ方針ニ付テハ決シテ變動ヲ來タサナイト云フ考ヲ持ツテ居ラル、ノアリマセウカ考フベキ餘地ノアルコトハ今申上ケマシタノアリマス、帝國大學ニ合併致スト云フコトハ、是ハ御承知ノ如ク帝國大學ハ今日總テノ學問ヲ成ベク綜合スルト云フコトデ殊ニサウ云フ大キナ主義ノ方カラ申シマセヌデモ、理學ト工學ト云フモノハ實ハ密接ナ關係ヲ致シテ居リマス、唯今専門教育ノ程度モ何モ見マセヌデ、今ノ儘ニシテ一科ノ中ニ兩方ヲ入レマシテモ、事實ニ於テハ専門教育ニ何等ノ影響ナキノミナラズ——惡影響ナキノミナラズ、實ハ理科大學ノ或ハ數學或ハ物理或ハ化學、サウ云フヤウナコトニ付テモ隨分莫大ナ金ヲ使シテ設備致シテ居リマスカラ、自然理科ノ方ニアル機械モ工業ノ方ニ要ルトキハ買ハナケラヌ、又工業ノ方ニアル物モ理科ノ方ニ別ニ買フトカ、此ノ如クニレテ居ルノデアリマス、是等ノ教授ナリ設備ナリ、之ヲ應用シテ學術上各ニ利用スル便益ヲ供スルト云フ道ヲ啓クニ於テハ、是ハ非常ニ利益ノアルコトデ、若シ是が別々ニナッテ居リマスレバ、ヤハリ練習が別ニナリマスカラ、自然理科ノ方ニアル機械モ工業ノ方ニヘルト云フ如クニシテ、互ニ器具機械ノ設備、圖書ノ設備、ソレ等ニ付テ無駄ナコトヲ省キ互ニ利用ヲ全ウスルコトが出來ル、又教官モ實地ノ方ノ先生ハ工學専門部ニ宜イシテ御互ニ有無ヲ見合シテ行クト云フコトがナカノ、困難デアリマス、若シ之ヲ一ノ監理人ガアル、ソレヲ又理科ノ方ニ利用スル途モアリマス、又逆様ニ理科ノ先生ヲ工學ノ方ニ利用スル途モ出來ル、此ノ如クニシテ教育上理論ヲ主トスル者モ實際ヲ見ルコトが出來、實際ニヤル者が理論ヲ深ク聽クコトが出來、而シテ學校ヲ卒業シテカラ社會ニ出タ者モ亦絶エズ學校トノ聯絡ガアルコトデ、工學専門部ヲ出タ者ハ母校トシテ尙學問上ノ修養ヲ重ネルコトが出來ルト云フヤウナ譯デ、是ハマア統一スルト云フコトハ、其外或ハ書記ヲ減ストカト云フヤウナサウ云フ經濟上ノコトノミナラズ、此學問上ニ於テモ餘程是ハ利益ノアルコトデハナイカ、ソレヲ實ハ札幌ト仙臺ナドト云フ離レタモノヲ機械的ニ集メマシタコロガ、御互ニ相發明スルコトハ實際甚ダ困難デアリマスケレドモ、同じ仙臺ノ中ニアル相近接シテ居ルサウ云フ所ハ、實ハ其學科モ殆ド親類同志ト云フヤウナ學科アル、御互ニ牆壁ヲ取シテシマッテ、御互ニ學問上ノ融通連絡ヲ圖ルト云フコトハ、是ハ惡クナイコトデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

トシテ居ル學校が、現ニ獨立シテ居ルモノヲ悉ク其方へ合ハスト云フ傾キニナルト、帝國内ノ此教育ノ方針ニ大影響ヲ來タスノデハナイカト私ハ思フ、唯仙臺ト云フ地方ニ大學ヲ完成シタイ、今ハ綜合大學ノ制ヲ採シテ居ルが故ニ、別ニ此處ニ工科大學ヲ擇ヘバ莫大ノ金が要ルカラ、幸ヒ設備ノ整フテ居ル高等工業學校ヲ取敢ヘズ其方へ入レテ、大學ニ之ヲシテ置ク方ガ便利デアルト云フ、此仙臺ノ東北大學ニ對シテ特ニサウ云フ御意見デアルナラバ、又考モノニアリマスケレドモ、理窟ノ上カラ互ニ相利用シ合フコトガ、教授上ニ於テモ研究上ニ於テモ互ニ便宜デアルト云フコトナラバ、東京ノ高等工業學校ヲ帝國大學へ移シ、京都ノ工藝學校ヲヤハリ帝國大學ノ専門部ニスルト云フコトノ議論ニ歸著シナイカ、斯ウ云フコトヲ私ハ心配スルノデアリマス

○政府委員(福原鐸二郎君) ソレハ御尤デザイマス、勿論其専門部ヲ永久ニ専門部ニシテ置テ大學ニシナイト云フコトハ、是モ明言ハ出來ナイコトデアリマシテ、若シ是ヲ工科大學ニ一部ナリ全部ナリ引上ゲルト云フ必要ヲ認メマシテ、更ニ其計畫ヲ立テマス時分ニハ、最モ合シタル方が便利デアルノデアリマス、其専門部ノ教育ノ存廢ハ又別ノ問題ト致シマシテ、免ニ角東北帝國大學ト云フモノハ、御承知ノ如ク理科一ツデハ餘リニ小サイモノニアリマス、又理科ノ利用ト云フコトモ實ハ十分出來テ居リマセヌカラ、外ノ帝國大學デゴザイマスレバ工科モ附イテ居ル、先ツ理科ノ利用ト云フコトモ相當ニ出來テ居ルノデアリマス、仙臺ハ餘程事情が異シテ居リマシテ唯理科アルノミデアリマス、是ノ利用ト云フ途モゴザイマセヌカラ、ソコデ理科専門學校ト工科専門學校ノ一ツ位ヲ合併シテ、一人ノ下ニ之ヲ管理スルト致シマシタコロガ、能ク手ノ居クコトデアリマス、先ツ手ノ居ク限リノコトデアリマシテ、無制限ニ學校ヲクア附ケテ見タコロガナカニ管理が出來ルモノデハゴザイマセヌ、仙臺ノ今ノ東北大學ノ現狀等ヨリ考ヘテ見マスルト、此二ツヲ併合シテ一ノ統一シタルモノト致シマシタコロデ、管理上差支ナインミナラズ、寧ロ便利デハナイカト、斯ウマア思シテ居リマス

○阪本彌一郎君 私ハ其管理上カラノ考デハナクシテ、學校ノ目的カラノ考ナノデス、ソコデ此醫科専門學校ハ別ト致シマシテ、實業的ノ工業學校トカ商業學校トカト云フモノヲ、漸次純粹ナル學問ノ研究ヲ致シマスルコロノ大學ノ方へ合シテ了フト云フコトニナルト、折角今日實業學校ナドガ段々殖エテ行キ居ルト云フ傾向ヲ一變スルノデハナイカト云フコトヲ私ハ疑フノデス、デ先刻以來政府委員ノ御説明ニ依シテ十分分シテ居ルガ、唯ソレガ單純ナル理論ノ上ニ於テ、或ハ教授が便宜デアル、教授ノ方法が便宜デアルトカ、研究ノ方法が便宜デアルトカ、管理ノ方法が便宜デアルト云フダケデ之ヲヤラレルト云フコトニナレバ、東京モ京都モ皆サウ云フ風ニシナケレバナラヌテハナイカ、單ニ仙臺ニ帝國大學ト云フモノヲ完成シナケレバナラヌカラ、仙臺ノ高等工業ダケハ廢メルノダケレドモ、實業學校ダケハ漸次日本中ニハ普及サスト云フ目的デアレバ、ソレハ必ズシモ矛盾ハシナイダラウト思ヒマス、其點ヲモウ一應明白ニ御答ニ願ヒマス

○政府委員(福原鐸二郎君) 無論其意味モアリマス、ソレデ唯今ノ案トシテハサウ云フ説明ヲ致スノデアリマス、又此東北帝國大學ノ沿革ヲ申シマスルト、到底工科大學ト申シマス大學ヲ造ラナケレバ、帝國大學トシテノ勤ギモ十分デナ、無論サウ云フ譯デアリマス、ソコデソレデハ全部専門學校ヲ廢スルカト云フ問題ニナリマスト、ソレハ別ニナリ

マスケレドモ、免ニ角今抱ヘ込ンテ置キマシタナラバ、當座ノ利益ハ先刻申上ゲタ通リデアル、將來ニ於テ又是ヲ工科大學ニ全部上ゲルトカ云フヤウナ計畫ノ立チマシタトキニハ、又御協賛ヲ經ル譯デアリマスケレドモ、其場合ニ於テ利便ヲ大ニ得ルト云フ先づ端緒ハ之ニ依テ出來ルト云フ意味デス、ソレハ豫テ這入ッテ居ル譯デアリマス

○荒川五郎君 今ノ所デアリマスガ、今日此文部省ト帝國大學ト云フモノガアリマスガ、帝國大學ト云フノハ一ツノ文部省位ノ力ガアル、此教育ノ方ガ一ツニ一體ナシテ居リマス、文部省ヨリモ大學ノ方が或場合ニハ非常ニ權力モアリ、治外法權モアリ、漸然其方ガ勢が強フル、將來文部省ヲ廢メテ帝國大學テ此文教ノ政事ヲ掌ルト云フコトニナレバ、此問題ハ定マルト思フ、私ハ是ハ漸次サウナツテ來ルト思フ、文部省ノ中ニモ普通學務局、實業教育局、專門局トアルニ拘ハラズ、實業ノ教育ヲ專門ノ教育ノ大學ニ向テモヤラウト云フコトニナルノハ、詰リ帝國大學ヘ總ニノ此權利ヲ任セル順序ヲ開ク、此問題ハ日本ノ教育文政ノ上ニ非常ナ大問題ト私ハ思フ、所謂一葉落チテ此ニ天下ノ秋ヲ知ルデ、是ヨリ漸次益々大學ノ權力ヲ加ヘルニ至ルデアラウト思フ、勿論文部省ノ御方が自分ノ權力ヲ譲ツテモ大學ニ將來ヤラスルノガ國家ノ爲メテアレバソレハナサルコトデアラウシ、其事ハ國家ノ爲メ教育ノ爲メ御考ニナルコトデアラウト思フノデアリマスルガ、文部省ノ其中デスラ實業ノ政治ト専門ノ政治トハ局マテモ別ケテ政治ヲスルノニ、ソレヲ一緒ニスルト是ハ監督ノ上カラモ私ハ仕方がナイコトニナリハセヌカト思フ、混同スルト思フ、況ヤ今日ノ帝國大學ヲドウスベキカト云フコトハ日本教育上ノ大問題デアルト思フ、デアリマスルカラ一時ノ此東北大學ト云フモノ、便宜上ノ問題ヨリシテ、日本ノ教育ノ前途ニハ非常ナ伏線ヲ持ツテ居ルモノト私ハ考ヘルノデアリマス、是ハ輕々ニツイマア後ハドウデモスル、專門生徒モ斯ウ云フカラ其所ヲ今明カニ言ワテモ工合ガ惡イカラ、其場合ニヤラウトカト云フヤウナツイ一時ノ問題デ、是ヲヤラレルト云フコトハ、文部當局者トシテモ私ハ甚ダ取ラヌ所ト思フデス、其方針ガ極ラヌケレバ此問題ノ可否ハ極マラヌヤウニ考ヘルノデアリマス、一體ニ文部ノセラル、コト、帝國大學ノ方針トが始終扞格スルヤウナコトガアルト云フコトハ、此席デ申シテハ惡イカ知レマセヌガ、其タメニ國民ハ非常ナ不利益ヲ被シテ居ルノデアル、然ルニ其大方針モ極ラナイノニ、斯ウ云フ姑息ト申シテハ失禮カ知レマセヌガ、サウ云フ根本的ノ方針ガ極ラズシテ斯ウ云フコトヲ立テルノハ、文部省トシテハ如何ダラウト思ヒマス、ソレ等ニ付テハ或ハ公然御話ガムツカシケレバ秘密會ニデモシテ、此事ハ十分御聽申シタイト思ヒマス、御質問申シマスト云フコトヲ長ク申上ゲマシタ、サウシテ然ラバ東北帝國大學ハドウナルノデアルカト云フト、將來工科大學、醫科大學ヲ作リタイト云フコトデアリマスレバ、醫學ノ専門部ヲ上ゲルヨリ外ニ途ガナイ、其意味ニ於テ、ソレナラ何時大學ニスルカト云フ見込ハ今日ハ立チマセヌ、立チマセヌガ將來上ダラウト云フキニ、斯ウシテ置キマスノガ便宜デアリマスカラ、合併シャウ、サウシテ合併スル方が寧ロ有益デアル、斯ウ云フ趣意デ申上ゲタツモリデアリマス、ソレカラ實業教育ト大學トノ關係ト云フコトデアリマスガ、是ハ東京帝國大學

ノ農科大學ニモ農科實科ヲ置テアリ、札幌ノ農科大學ニモ水產學科ガ置テアリ、土木工學科モ置テアリ、其外ニ農科實科ト云フモノモアリマス、是等ハ皆ナ實業教育ニアリマス、實業教育ト云フモノガ大學カラ除外サレアルモノト思フテ居リマセシ、苟モ一  
流ノ學者ヲ大學へ入レマンタ以上、其力ヲ利用シテ實業教育其他専門ノ教育ニ貢献スルコトガ出來ルナラバ、ソレハ利用スル方が無論宜イ事ト思フノテアリマス、是等ハ專門部ヲ作リマシテモ從來モ例ノアルコトニアリマス、別ニ新シイ發明デハナイノテアリマス、ソレカラシテ大學ノ監督云々ト云フコトニアリマスか、成程程度ノ高イ學校デアリスカラ、餘程大學ニ對シテハ文部省ノ監督モ自治ノ範圍ヲ廣ク認ムルト云フヤウニ致シテ居リマスケレドモ、無監督ト云フ譯テハ無論ナイノテアリス、而シテ實科杯ハヤハリ實業教育ト見マシテ、文部省ニ於テモ直轄ノ實業專門學校ニ對スルが如クニ、ヤハリ實科ニ對スル監督ハ致シテ居ルノデアリマス

## ○荒川五郎君

先刻カラ努メテ御説明ニナリ、御説明ノ趣旨モ御精神モ私分シテ居リマス、是ハドウ云フヤウニ定ムベキカト云フコトヲ御極メニナラケレバナラヌモノト思フ、今日大學ニモ實業科ガアリマス、實業科ガアリマスガ是ハ非常ニ大學ノ權力が伸ビタ例デ、實業教育局デスベキ仕事ヲ大學ガスルノデ、大學ノ權力が伸ビタ證據デアル、サウ云フヤウニ東北ノ大學ニ對シテモ實業科ヲ置テ管スルトセバ、漸次實業科モ普通科モ大學デヤルト云フコトニナル傾向ヲ示スノデ、勿論是ガ監督ハ賢明ナル文部大臣ノ力ニ依テセラルコトニアリマスシ、サウナレバ私申サヌデモ此席ノ御方ハ教育上ニ明ルイ方ニアリマスシ、先輩ノ方デアリマスカラ、此席デ申上ゲル必要ハナインデアリマスケレドモ、漸次教育ノ仕事ハムヅカシクナルト思フ、サウ私ハ心配致スノデ、一體少シ此基礎ヲ御定メニナラケレハナラヌト思フノデス

○政府委員(福原鑑二郎君) 御尤デアリマスガ、政府トシテ大學ハ實ハ嫌ツテハ居リマセヌノテ、ソレテ大學デヤル仕事が全ク無監督トナッテ放縱ニ流レルト云フ 程ノモノトハ考ヘテ居リマセヌ、學者ノ多數寄シテ居ル大學デアリマスカラ、文部省モ何カラ何マテ細カイコトヲ差圖スルト云フコトハ致シテ居リマセヌケレドモ、併ナカラ文部大臣ノ下ニ在ル教育機關デアリマスカラ、必要アル監督ハ致シテ居ルノミナラズ、大學デ是マデヤッテ居リマス實科ニ付テモ、ドウモ大學ダカラ手が付ケラレヌ困シタモノグト云フヤウナ場合ニ遭遇致シタコトニアリマセヌシ、尙學者ヲ使シテ居ル以上、大學ト云フモノデ實業教育ヲヤル力ガアレバ、ソレヲ利用スルガ宜シ、又教員ヲ養成スルト云フ力ガアレバ教員ヲ養成スルモ宜イ、大學ニ於テ教育ヲ施シタモノハ無論國家ニ有益ナモノデナケレバナラヌノデアリマスカラ、大學ノ力ヲ利用スルト云フコトハ出來ルダケ利用シタ方ガ宜クハナイカト思ツテ居リマス

○村松龜一郎君 先刻來ノ御説明テ大抵分ツタヤウデアリマスガ、此工業學校ノ方ハ——工業部ノ専門科ノ方ハ之ヲ大學ニ移スト同時ニ、専門程度ノ方ハ廢スルカ否ヤ若クハ併合スルカト云フコト、若クハ其一科ヲ専門部ニ置テ、他ヲ大學ニ移スト云フコト等ハ研究問題ニアッテ、未ダ定メテ置カヌト云フ御説ニアリマス、ソレハ能ク分シテ居リマスガ、此醫學ノ方ノ専門部デスガ、是ハ若シ醫科大學ヲ置カル、トスレバ、醫學ノ専門部ト云フモノハ、ソレト同時ニ廢サレルト云フヤウナコトニナル御意向ニアリマスカ、若ク

ハソレモマダ醫學專門部ノ方ノ併合スルヤ否ヤハ分ラヌト云フコトニアリマスカ、ソレハ醫學專門部ノ如キモヤハリ大學程度ノモノ以外ニ専門程度ノモノが必要ノヤウニ思ハレルノデアリマス、ソレハドウ……

## ○政府委員(福原鑑二郎君)

此醫學專門學校ヲ大學ニ引上ゲル場合ニ於キマシテハ、專門教育ハヤラナイ積リデリアマス、是ハ明カニサウ申上ゲルコトが出来ルグラウト思フ、ソレハ豫テ衆議院カラモ醫育統一ト云フコトニ就テノ御建議モ出タコトガゴザイムスノデ、一體醫者ト云フモノハ八人病ヲ愈ス、人ノ生命ヲ預カル商賣デスカラ、謂ハ「王公貴人ノ命ト雖モ、車夫馬丁ノ命ト雖モ、命ニハ變リハ無イ、ソレテ醫者ノ商賣ト云フモノニハ高下ハナイ、一體今ノ醫者ニ高イ醫者ヤ低イ醫者ヤ、イロイロ教育上ニ階段ガアルノガ訝シイデヤナカト云フノガ醫育統一ノ目的デ、ソコデ今日ノ醫學專門學校ハ醫者ノ拂底ノ際ハ已ラ得ス、醫術開業試驗モ亦然リ、併ナガラ將來ハドウカ大學程度ノ教育ヲ與ヘタ者ガ社會ニ醫者トナシテ現レナケレバナラヌモノデアルト云フ主意テ建議モ出テ居ル、政府ニ於テモ其御趣意ハ御尤デアルト考ヘル、ソレ故ニ若シ其程度デモ變ルト言フ場合ニ於キマシテハ、寧ロ段々ニ専門教育ヲ進メテ、大學教育ノ程度ニ引上ゲテ行カナケレバナラヌモノト、斯様ニ考ヘテ居リマス、然ルニ此工業ト商業トカ云フモノニナツテハ、高イ程度ノモノモアリ低イ程度ノモノモアル、技師モアレバ技手モアリ職工モアルト云フ譯ニアリマスカラ、是ハ商賣ニ高下ガアル、教育ニ高下ガアシテ宜シイ譯デス、ソコデ工業專門ノ方フ大學ニ引上ゲル場合ニ於テハ専門部ハ並行スルト云フコトモ考ヘラレル、大ニ攻究スベキ問題デアル、チヨット醫者ノヤウニ簡單ニハ參ラナイト考ヘテ居ルノデアリマス、醫育ノ方ハ専門教育ヲ廢シテ宜カラウ、斯ウ考ヘテ居リマス

○阪本彌一郎君 此案ニ就キマシテ此資金ノ編入ヲ致シマスルニ就テ、經濟上ノ利益ト云フノハドウ云フ點が利益ニアリセウカ、而シテ若シ金額ガアレバドレダケノ金額が利益ニナルト云フコトガ直チニ分ルノデセウカ

○政府委員(松浦鎮次郎君) 唯今ノ御質問ニチヨット御答ヲ致シマス、此工業學校ト專門學校ヲ東北帝國大學ノ専門部ニ致シマスニ就テ、資金ノ組換等が必要ニナリマシテ、法律案トシテ御協賛ヲ仰グ譯ニアリマスガ、此資金其他ノモノヲ編入スルト云フコトガ、別ニ經濟上ノ利益ト云フコトハ無イノデゴザイマス、是ハ法律ノ結果デ、實ハ大學ノ資金ト、各學校ズト通ジタ學校圖書館資金ト云フモノハ、マルテ別ノ法律デ支配サレテ居リマス、ソレテ今迄學校圖書館ノ資金ニ關スル法律ニ支配サレテ居リタモガ、大學ノ特別會計ノ法律ニ支配サレル、資金ニ移ルト、ドウシテモ法律ヲ特別ニ出シマセヌトサウ云フ事が出來マセヌ、其結果デ學校ヲ一方カラ一方ヘ移スト云フコトノ必要已ムヲ得ザル結果トシテ是が出マシタノデス、資金ヲ移スト云フコトソレ自身、別ニ經済上ノ利益ト云フコトハアリマセヌ

○阪本彌一郎君 サウシマスルト利益ト云フノハ唯、管理ノ上ニ於テ便宜ガアル、現計ノ上ニ於テ便宜ガアル、教授ノ上ニ於テ便宜ガアルト云フコトノ外ニ利益ハナイ、斯様ニ解シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(福原鑑二郎君) マアサウデゴザイマス

マスガ、此高等工業學校殊ニ實業學校ト言シタ方が宜シウゴザイセウ、此實業學校カラ卒業ヲシタ生徒ト、ソレカラ大學ノ專門部カラ卒業ヲシタ生徒、是ハ工業ニ限ラレテモ宜シウゴザイマスガ、専門部カラ卒業シタ生徒是等ノ職ニ就テ居ルトコロノ統計カ何カアルデアリマセウカ

○政府委員(福原鑑一郎君) ソレハ調べテ見マセウガ、工業ノ專門部ト申シマスモノハ唯今テハ札幌ノ農科大學ニ土木ニ就テ專門部ガアル、ソレダケデゴザイマスカラ分リマスカ、ドウカ知レマセヌガ、調ベルコトハ調ベマス

○阪本彌一郎君 御調が付ケバ願ヒタイ斯ウ云フ事ヲ今私——是ハ別ニ統計ニモ何ニモ依テ言ノデナイガ、自分ノ聞クトコロニ依レバ斯ウ云フ事がアル、大學ヲ卒業シテ例ヘバ工學士ニナッタ者ガアルトコロガ工學士トナッテ現ニ職ヲ求ムニ甚グ困難フシテ、今現ニ職ニ就テ居ラス者ガ澤山アル、此專門學校卒業ノ生徒ト云フモノデ職ニ就テ居ラヌ者ハ殆ド無イ位、サウシテ見ルト社會ノ要求ハ唯今政府カラ御辯明ニナルヤウナ高等ノ學問ヲ修メタ人間ヨリハ、寧口實地ニ於テ却テソレヨリ低イ程度ノ學問ヲ修メタ人間ヲ要求シテ居リハシナイカト云フコトヲ私ハ考ヘルノデス、若シサウ云フ事デアリトスルナラバ、之ヲ却テ大學ノ專門部ニ移シタガ爲ニ志望者ガ少クナッテ、遂ニ折角ノ政府ノ計畫サレタ目的ヲ貫徹スルコトが出來ナイト云フコトニナリハシイカ、斯ウ云フ疑ガアルノデスガ、其點ニ付テハ御考ハドウテセウ、是ハ私タゞ聞イタ謂ハド道路ノ說デアリマス、ソレヲ根據トシテ申上ゲルノデアリマスカラ、確實ナ事デハアリマセヌガ、サウ云フ噂ヲ聞グノデス、若シソレヲ事實トスレバ、私ハ社會ノ要求が却テ大學卒業ノ人ヲ求ムルノデナクシテ、ソレ以下ノ專門學校卒業ノ人ヲ求ムルト云フ傾キニナシテ居ルノデハアルマイカト云フコトヲ疑ノンデス

○政府委員(福原鑑一郎君) ソレハ詰リ專門程度ノモノデゴザイマスト、ドウシテモノ

ヲ餘計要スルノデアリマス、ツマリ職工長トカ技手ト云フ、又大學ヲ出タモノニナリマスト、初メハ無論技手デアリマスケレドモ、先ニ行シテ技師ニナル、ツマリ其上ニ立ツテ行ク、ソレデ先ヅ需用ノ頭數ヲ申シマスト、ドウシテモ專門教育ノ程度ノモノガ餘計要ルノデス、是ハ近來ノ工業教育全體ヲ見渡シマシテモ、工業學校卒業生ト云フモノハ一等好ク賣レルノテス、或ハソレハ表デモ調べテ見マセヌケレバ確カナ事ハ申サレマセヌガ……

○阪本彌一郎君 ソレガアレバソレヲ願ヒマス

○政府委員(福原鑑一郎君) 工學士ト云フモノハ、是モサウエライ賣レノ惡イモノデハアリマセヌ、ソレハ御承知ノ通リ大學ヲ出マシタ者アモ、又外ノ學士ナドニナリマスト、隨分職業ニ就クニ困難シテ居ル者ガアリマス、工學士ト云ラクトコロガヤハリ實業ノ方面デアリマス、是モナカ——需用ハアルノデアリマス、工學專門ノ方デハ殆ド實業方面ノ注文ニ引足ラスト云フ位ノ状況デアラウト思ヒマス、是ハ調べテ申シマスガ、併シ專門部ニカリマンシタコロガヤハリ專門教育デアリマス、ソレハ同ジコトデアラウト思ヒマス、専門部ニナックト云ウテモ、ソレハ大學ノ實科ナドヲ出タ者デモ需要ハ非常ニアル、其點ニ於テハサウ變リハアルマイト思ヒマス、唯工學專門部ヲ大學ニ引直ス曉ニハソレ程社會ニ需要ガアルカ、又生徒ノ志望者モアルカドウカ分リマセヌガ、之ヲ大學ニ引直シテ專門教育ヲソレダケ減少スルト云フコトハ、國家ノ爲ニ善イカ惡イカト云フコトハ、ソレハ餘程考ヘナ

ケレバナラヌ、ソレデ必シモ大學ニ引直スカラト云フテ專門教育ヲ廢スル積リト云フコトヲ申上ゲタ譯デハゴザイマセヌ

○委員長(菅原傳君) 私ヨリモ一ツ御尋シテ置キマスガ、確カナル爲ニ御尋シテ置キマス、今日仙臺醫學專門學校仙臺高等工業學校ヲ東北帝國大學ノ所屬トシ、愈々兩專門部ノ程度ヲ上げテ東北大學ニ編入スル場合ハ醫學專門學校ハ廢ス、併シ實業ノ方、今ス所謂高等工業學校ハ全然廢サヌト云フ次第アリマスカ、或ハ其ニモ之ニ依テ

取捨選擇シテ廢セズニ存置スルヤウニナルカモ知レス、存置スルト云フ方デアリマスカ、或ハ存置セヌ方デアリマスカ、之ヲ伺ヒタイ、今御話モアツタヤウデアリマスガ、尙確メテ置キタイ○政府委員(福原鑑一郎君) 是ハ兩方共一大學ニスルト云フ時期ハ是ハ今確言ハ出来マセヌ、ソレカラ若シ大學ニ引上グル時期ガ參リマシタナラバ、醫科ノ方ハ大學ノ程度ニシマズレバ專門教育ハ廢メマス、ソレカラ工科ノ方ハ工科大學ニ致シマズレバ專門部ヲ廢スルカ否ヤト云フコトハ是ハ一ノ問題デアル、而シテ專門教育ヲ存廢スルコトハソレハ其時ニ於テ大ニ考ヘテ、一方ニ於テ大學教育ヲ造ル、一方ニ於テ又國家必要ノ専門教育ヲ施スガ善イカ惡イカト云フコトハソレハ將來ノ問題デアリマス、ソレハ大ニ攻究ハ後ニ決シヤウト云フ考デアリマス

○委員長(菅原傳君) 重ネテ御尋シマスガ、此實業ノ方ニ付テ阪本君カラノ御尋モアツテ、至極私ハ御同感ヲ表シタ次第アリマスガ、目的ノ點カラ云フテモ實業學校ノ方ハ存廢ト云フコトニ付テ餘程其影響ガアルコト、思ヒマスガ、御見込デアリマスガ、廢ス方ノ御見込デアリマスカ、維持スル方ノ御見込デアリマスカ、之ヲハギリ御答ヲ得ルコトハ難イカ知レマセヌガ、醫學ノ方ハ全然廢スト云フコトデアリマスガ、工科ノ方ハ御見込ハ如何デアリマセウ

○政府委員(福原鑑一郎君) 今日ノ程度ニ於テハ專門程度ノ教育ハマダ擴張スル方針デアリマス

○政府委員(福原鑑一郎君) サウスルト寧口廢サヌ方ニ解釋シテ宜イ譯デアリマスカ

○委員長(菅原傳君) マアサウデスナ

○政府委員(福原鑑一郎君) 了解致シマシタ——諸君ニ御誼リシマスガ、尙質問等ガゴザイマスカ、或ハ又今日是デ決定致シマスカ

○阪本彌一郎君 私ハ今ノ統計表ナドヲ一遍拜見ラシテ、モウ少シ御尋スルコトガアレバシタイト思フ、實ハ唯今委員長カラモ御話ノ通リ、何デモナイ事ノヤウデアリマスケレドモ、是ハ私ハヤハリ大問題ト思フノデス、ソレカラ仙臺ノ地方カラ考ヘマシテモ餘程問題デアラウト思フ、之ヲ大學ノ方ヘ入レテ了ツテ、先ヅ大學ノ專門部ト云フモノニ入レテ了ツテ、高等工業學校ト云フモノガ一ツ減テシマウト云フコトニナルト、是ハ仙臺パカリデナイ、東北地方ニ於テモ餘程研究スベキ問題デハナイカト思フ、専門部ト云フ學校ガアツテ、果シテソレノ希望者が實際今日ノ高等工業學校ニ入學ヲ希望スルト同シ程ノ程度ニ至ルヤ否ヤ、斯ウ云フ事柄モ諸般ノ事情カラ十分研究シテ見ル問題デハナイカト思ヒマスカラ、私ハ此決議ヲ暫ク御延バシヲ願ヒタイト思フ、統計ノ書類ガアリマスレバ尙他ニ参考ニスベキモノガアリマスレバ、其御提出ヲ願シテ、モウ少シ研究シテ見タイト思ヒマス

○根本正君 私ハ是デ宜カラウト思ヒマスガ、サウ云フ御説ガアレバ御延ベニナツテ御満足ヲ與ヘク方ガ宜カラウト思ヒマス

○委員長(菅原傳君) 暫ク速記ヲ止メマス

(速記中止)

○委員長(菅原傳君) 引續キ開會致シマス——御質問ハアリマセヌカ、御質問ガナケレバ討議ニ附シマス

○根本正君 本案ハ十分御質問ニモナリマシタリ、此精神ハ決シテ此實業專門學校ナドヲ廢スルナドト云フヤウナ意味ハ含ンテ居ラヌモノト私ハ思フノデアリマス、先刻質問ノ中ニ述ベマシタ通り、東北ハ最モ學問ヲスル氣候ニ適シテ居ルコトアヅテ、益々諸學校ヲ完成シナケレバナラヌデス、故ニ今日大學ハ實際不足デアルカラ、マア追々大學ト云フモノニナル折モアリ、又サウシタナラバ此專門學校ハ此專門學校ガアツ益々其方ノコトモ發達スル、實ハ發達スルニモ一ツバカリデアツダハ發達ハ出來ナイ、ヤハリ此小學モ中學モ専門學校モ大學モアルト云フコトデナケレバ、一方ノミ發達スルコトハ出來ナイ、是ハ教育ノミナラズ總テノ點ニ於テサウト思フ、近來ハ大ニ此教育ノコトニ就テモ政府當局初メ又社會ノ輿論モ宜クナツテ來テ、サウシテ此學校ノ補助モ昨年百五十万圓殖エル、或ハ其他ニモ優待ノ出來ルト云フヤウナ譯デアリマスカラ、是が出來タラ實業專門ナドカ減ズルト云フ意味ニモ私ハ信ゼナイコトデアリマス、又是ハ政府委員ノ御述ベニナリマシタ通り種々ノ點ニ於テ利益ガアル、經濟ノ方面モアラウ、又圖書館等ニモ兩方イロ／＼ノ點ニ於テ利益スルト私ハ思ヒマスカラ、此案ハ原案ヲ贊成シマス、ドウカ諸君ノ御贊成ヲ請ヒマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○藤澤幾之輔君 自分ハ深キ考慮ヲ重ねタル上ニ贊成ヲ致スノデアリマスガ、併ナガラ其贊成ヲスル間ニモ實ハ躊躇スルトコロカ尙去ラナイデス、ソレト云フノハ東北が東北大學ヲ設立ヲ希望シタコト甚ダ年が久シカツンデス、サウシテ今日ノ現狀ハ僅三理科ノ一部が開カレテアルニ過ギナイ、ソレカラ偶々實業學校ニ屬スルトコロノ高等工業學校が設ケラレテアツタノニ、課程ダケトハ言ヒナガラソレガ今日ノ如ク變更ガアリ、一體其大學モ勿論必要デアリマスガ、東北ノ現狀ニ於テハ高等工業學校ノ如キ實學ガ特ニ必要デアルコトハ私ノ申述ベルマデモナイコトデ、仙臺アハ先キニ徒弟學校ヲ置キマシテ、後ニ之ヲ工業學校ト改メテ、今日漸次發展シツ、アルモノガアリマス、其成績ハ甚ダ良好デアリマス、勿論イロ／＼ノ點ニ於テ望ラ充スコトノ出來ナイモノガアリマスカラ、思フヤウニハ參ツテ居リマセヌケレドモ免ニ角極メテ良好ナル成績ヲ現シテ居ル、ソレカラソレハ極ク程度ノ低イモノデアリマシテ、サウシテ其上ニ高等工業學校ガアル、併ナガラ其中間ニ尙一ツノ工業學校が必要デアルト云フノデ、一昨年ノ縣會ニ於テ縣立工業學校ヲ設ケルコトニシテ、サウシテ現ニ今其建築中デアルノデアリマス、市立ノ工業學校、縣立ノ工業學校、是等ノモノガ相俟シテ其成績ヲ舉ゲルヤウナコトニナリマシタラバ、東北——少クトモ宮城縣ノタメニ利益スルトコロノモノガ多カラウト思ウテ、實ハ私ナドハ現在ニ於テ書生ヲ導クニ於テ、常ニ前途ノコトヲ十分ニ考ヘナイデ徒ラニ大學ニ入ラントスル者ヲ抑ヘテ、サウシテ高等工業學校ニ入ルコトヲ勧誘シツ、今日ニ至ツテ居ルモノ

○阪本爾一郎君 既ニ大勢ハ決シテ居ルヤウデアリマスガ、私ハ反對ノ意見ヲ申述ベテ置キマス、大學ノ準備トシテ高等工業學校ヲ大學ノ管轄ノ下ニ移スト云フ意味デハナイケレドモ、後日サウ云フコトガアルカモ知レスト云フ事柄デアリマシテ、政府ノ意思ノ在ルトコロノ御説明モ疾ク分ツテ居リマス、併ナガラ自分ノ見ルトコロニ依レバ、結局實業學校ト云フモノガ一ツ減ルノデアルト云フコトヲ信ズルノデアリマス、今日ノ帝國ノ現狀ハ私ハ寧ロ實業學校ノ増加ヲ望ムト云フ現狀デアルト考ヘマス、縱令高等ノ學校ヲ完成スルト云フ目的ヲ有ツシテデモ、私ハ此工業學校ト云フモノヲ犠牲ニ供シテソレヲ減ラスト云フ事柄ハ面白クナイト信ズルノデアリマスカラ、唯反對ノ意見ヲ表白シテ置キマス

(「採決々々」ト呼フ者アリ)

○委員長(菅原傳君) 採決致シマス、阪本君ニハ贊成ノ方ハナイヤウデアリマス、他ハ皆原案贊成デゴザイマスカ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長(菅原傳君) ソレハ原案ニ決シマス、是ニテ閉會致シマス

午後零時二十八分散會